

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 338

政策体系	22	事業分類	ハード事業	所管部局	上下水道部 下水道課
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 3. 環境衛 現年		
事業名	合併処理浄化槽等設置整備事業				
細事業名	合併処理浄化槽等設置整備事業				
評価表作成者				上下水道部 下水道課	早川 忠

## 1. 事業の概要

市民の衛生的で快適な暮らしを確保するとともに、市域の良好な環境を保全するため、合併処理浄化槽の設置や適正管理等を推進する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

市民の衛生的で快適な暮らしを確保し、市域の良好な環境を保全する。

### ② 事業を実施する必要性

生活衛生の改善及び公衆衛生の向上を図るため、し尿と雑排水を合わせて処理する合併処理浄化槽を設置し公衆衛生に努める。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	14,425	20,882	7,492	4,514	5,586	9,124	9,124
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	5,217	7,920	4,205	2,702	3,391	5,527	5,527
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,208	12,962	3,287	1,812	2,195	3,597	3,597
職員等の従事人員		人/年	—	0.40	0.40	0.40			
人件費		千円	—	3,002	3,044	3,201			
事業費総額		千円	—	23,884	10,537	7,716			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

設置補助金 4,489,000円（補助金）  
 京都府浄化槽推進協議会 25,217円（負担金）

## 5. 事業結果の概要

浄化槽設置 10基

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

設置整備事業については、関係区域の区長を通じ設置補助金及び維持管理補助金について制度を示し、未設置者に対して整備促進を図ってきた。下水道と同じく宅内配管にも多額の費用がかかり、また、少子高齢化が進行している地域では後継者不在が要因として平成22年度には10基の設置に留まった。  
今後も引き続き関係区域に、区長等を通じて生活環境改善及び公共用水域の水質保全に向けて設置促進を図っていく。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

合併処理浄化槽の設置整備については、合併処理浄化槽区域の各区長さんや合併処理浄化槽管理組合を通じて、補助金制度や設置後の維持管理補助金制度も示し、未設置者に対して整備促進を図ってきた。  
合併処理浄化槽を設置するには、補助金制度はあるものの多額の費用が必要であり、また少子高齢化が進行している地域では後継者不在が要因として、平成21年度は15基の設置に留まった。  
今後も引き続き、各区長さんや維持管理組合、広報等を通じて、生活環境改善や公共水域保全のため設置促進を図っていく。

##### ■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
合併処理浄化槽の設置促進と適正な設置補助金のあり方について協議した。  
②当該事業のアピール事項  
合併浄化槽維持管理組合を通じて未設置者に対して合併浄化槽設置促進を図り、平成21年度以降の補助金内容についても周知した。  
③反省点、今後の展開・方向性等  
引き続き、合併浄化槽維持管理組合や広報等を通じて設置促進を図っていく。